

Document made available under the Patent Cooperation Treaty (PCT)

International application number: PCT/JP05/001422

International filing date: 01 February 2005 (01.02.2005)

Document type: Certified copy of priority document

Document details: Country/Office: JP
Number: 2004-028562
Filing date: 04 February 2004 (04.02.2004)

Date of receipt at the International Bureau: 31 March 2005 (31.03.2005)

Remark: Priority document submitted or transmitted to the International Bureau in compliance with Rule 17.1(a) or (b)



World Intellectual Property Organization (WIPO) - Geneva, Switzerland
Organisation Mondiale de la Propriété Intellectuelle (OMPI) - Genève, Suisse

04. 2. 2005

日 本 国 特 許 庁
JAPAN PATENT OFFICE

別紙添付の書類に記載されている事項は下記の出願書類に記載されている事項と同一であることを証明する。

This is to certify that the annexed is a true copy of the following application as filed with this Office.

出 願 年 月 日 2 0 0 4 年 2 月 4 日
Date of Application:

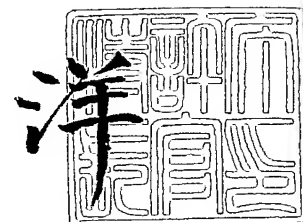
出 願 番 号 特 願 2 0 0 4 - 0 2 8 5 6 2
Application Number:
[ST. 10/C]: [J P 2 0 0 4 - 0 2 8 5 6 2]

出 願 人 松 下 電 器 産 業 株 式 有 限 公 司
Applicant(s):

2 0 0 5 年 3 月 1 7 日

特 許 庁 長 官
Commissioner,
Japan Patent Office

小 川



【書類名】 特許願
【整理番号】 2903150421
【提出日】 平成16年 2月 4日
【あて先】 特許庁長官殿
【国際特許分類】 G06F 13/00
【発明者】
 【住所又は居所】 神奈川県横浜市港北区綱島東四丁目 3 番 1 号 パナソニックモバイルコミュニケーションズ株式会社内
 【氏名】 井戸 大治
【発明者】
 【住所又は居所】 神奈川県横浜市港北区綱島東四丁目 3 番 1 号 パナソニックモバイルコミュニケーションズ株式会社内
 【氏名】 米本 佳史
【発明者】
 【住所又は居所】 大阪府門真市大字門真 1 0 0 6 番地 松下電器産業株式会社内
 【氏名】 山口 孝雄
【発明者】
 【住所又は居所】 大阪府門真市大字門真 1 0 0 6 番地 松下電器産業株式会社内
 【氏名】 佐藤 潤一
【発明者】
 【住所又は居所】 大阪府門真市大字門真 1 0 0 6 番地 松下電器産業株式会社内
 【氏名】 武井 一朗
【特許出願人】
 【識別番号】 000005821
 【氏名又は名称】 松下電器産業株式会社
【代理人】
 【識別番号】 100105050
 【弁理士】
 【氏名又は名称】 鷲田 公一
【手数料の表示】
 【予納台帳番号】 041243
 【納付金額】 21,000円
【提出物件の目録】
 【物件名】 特許請求の範囲 1
 【物件名】 明細書 1
 【物件名】 図面 1
 【物件名】 要約書 1
 【包括委任状番号】 9700376

【書類名】 特許請求の範囲**【請求項 1】**

あらかじめ決められた贈答相手の特徴を示す情報である人物情報を記憶する人物情報記憶手段と、

贈答品を受け取ると想定される受取人の特徴を示す情報である受取人情報と前記受取人情報を含む前記贈答品の情報である商品情報とを受信する受信手段と、

特徴が前記贈答相手と一致する受取人の前記受取人情報を含む前記商品情報が先頭になるように前記受信手段にて受信した前記商品情報を並べる商品情報選択手段と、

前記商品情報選択手段にて並べられた順番に前記商品情報を表示する表示手段と、
を具備することを特徴とする端末装置。

【請求項 2】

現在の日時を計測する計測手段と、

前記人物情報記憶手段に前記人物情報として記憶されている特定の日時から前記計測手段にて計測された現在の日時を減算した結果がしきい値以下である前記贈答相手を選択するイベント決定手段とを具備し、

前記商品情報選択手段は、前記イベント決定手段にて選択された前記贈答相手の特徴と一致する特徴の受取人の前記受取人情報を含む前記商品情報が先頭になるように、前記受信手段にて受信した前記商品情報を並べることを特徴とする請求項 1 記載の端末装置。

【請求項 3】

前記商品情報選択手段は、通信頻度がしきい値以上である前記贈答相手の前記商品情報が先頭になるように、前記受信手段にて受信した前記商品情報を並べることを特徴とする請求項 1 または請求項 2 記載の端末装置。

【請求項 4】

あらかじめ決められた贈答相手の特徴を示す情報である人物情報を記憶する人物情報記憶手段と、

贈答品を受け取ると想定される受取人の特徴を示す情報である受取人情報と前記受取人情報を含む前記贈答品の情報である商品情報とを受信する受信手段と、

前記贈答相手の特徴と前記受取人の特徴とが一致するか否かを判定するとともに一致する判定の結果が得られた場合には特徴が前記贈答相手と一致する受取人の前記受取人情報を含む前記商品情報を選択する商品情報選択手段と、

特徴が一致する場合の前記判定の結果を含めて前記商品情報選択手段にて選択された前記商品情報を表示する表示手段と、

を具備することを特徴とする端末装置。

【請求項 5】

現在の日時を計測する計測手段と、

前記人物情報記憶手段に前記人物情報として記憶されている特定の日時から前記計測手段にて計測された現在の日時を減算した結果がしきい値以下である前記贈答相手を選択するイベント決定手段とを具備し、

前記表示手段は、前記イベント決定手段にて選択された前記贈答相手の特徴が前記受取人の特徴と一致する場合の前記判定の結果を含めて、前記商品情報選択手段にて選択された前記商品情報を表示することを特徴とする請求項 4 記載の端末装置。

【請求項 6】

前記表示手段は、通信頻度がしきい値以上である前記贈答相手の特徴が前記受取人の特徴と一致する場合の前記判定の結果を含めて、前記商品情報選択手段にて選択された前記商品情報を表示することを特徴とする請求項 4 または請求項 5 記載の端末装置。

【請求項 7】

前記商品情報選択手段にて選択された前記商品情報の前記贈答品における前記特定の日時より前の購入期限日を記憶するスケジュール記憶手段を具備し、

前記表示手段は、前記スケジュール記憶手段にて記憶されている前記購入期限日を前記購入期限日まで表示することを特徴とする請求項 2 または請求項 5 記載の端末装置。

【請求項 8】

請求項 1 から請求項 7 のいずれかに記載の端末装置に前記商品情報を送信する配信サーバーであって、

前記配信サーバーは、

前記受取人情報を含む前記商品情報を生成する商品情報生成手段と、

前記商品情報生成手段にて生成された前記商品情報を送信する送信手段と、

を具備することを特徴とする配信サーバー。

【請求項 9】

あらかじめ決められた贈答相手の特徴を示す情報である人物情報を記憶するステップと

、
贈答品を受け取ると想定される受取人の特徴を示す情報である受取人情報と前記受取人情報を含む前記贈答品の情報である商品情報とを受信するステップと、

特徴が前記贈答相手と一致する受取人の前記受取人情報を含む前記商品情報が先頭になるように受信した前記商品情報を並べるステップと、

並べられた順番に前記商品情報を表示するステップと、

を具備することを特徴とする受信データ表示方法。

【請求項 10】

現在の日時を計測するステップと、

前記人物情報として記憶されている特定の日時から計測された現在の日時を減算した結果がしきい値以下である前記贈答相手を選択するステップとを具備し、

選択された前記贈答相手の特徴と一致する特徴の受取人の前記受取人情報を含む前記商品情報が先頭になるように、受信した前記商品情報を並べることを特徴とする請求項 9 記載の受信データ表示方法。

【請求項 11】

通信頻度がしきい値以上である前記贈答相手の前記商品情報が先頭になるように、受信した前記商品情報を並べることを特徴とする請求項 9 または請求項 10 記載の受信データ表示方法。

【請求項 12】

あらかじめ決められた贈答相手の特徴を示す情報である人物情報を記憶するステップと

、
贈答品を受け取ると想定される受取人の特徴を示す情報である受取人情報と前記受取人情報を含む前記贈答品の情報である商品情報とを受信するステップと、

前記贈答相手の特徴と前記受取人の特徴とが一致するか否かを判定するとともに一致する判定の結果が得られた場合には特徴が前記贈答相手と一致する受取人の前記受取人情報を含む前記商品情報を選択するステップと、

特徴が一致する場合の前記判定の結果を含めて選択された前記商品情報を表示するステップと、

を具備することを特徴とする受信データ表示方法。

【請求項 13】

現在の日時を計測するステップと、

前記人物情報として記憶されている特定の日時から計測された現在の日時を減算した結果がしきい値以下である前記贈答相手を選択するステップとを具備し、

選択された前記贈答相手の特徴が前記受取人の特徴と一致する場合の前記判定の結果を含めて、選択された前記商品情報を表示することを特徴とする請求項 12 記載の受信データ表示方法。

【請求項 14】

通信頻度がしきい値以上である前記贈答相手の特徴が前記受取人の特徴と一致する場合の前記判定の結果を含めて、選択された前記商品情報を表示することを特徴とする請求項 12 または請求項 13 記載の受信データ表示方法。

【請求項 15】

選択された前記商品情報の前記贈答品における前記特定の日時より前の購入期限日を記憶するステップを具備し、

記憶されている前記購入期限日を前記購入期限日まで表示することを特徴とする請求項 1 0 または請求項 1 3 記載の受信データ表示方法。

【書類名】明細書

【発明の名称】端末装置及び受信データ表示方法

【技術分野】

【0001】

本発明は、端末装置及び受信データ表示方法に関し、例えば配信サーバーから送信された配信データを受信する端末装置及び受信データ表示方法に関する。

【背景技術】

【0002】

第3世代移動通信システムにおいて、複数の携帯電話に同時に配信データを送信する放送サービスが知られている（例えば、特許文献1）。

【0003】

従来の放送サービスにおいて、ユーザは、GPS等により測定した自分の位置の情報をサーバーに送信し、ユーザの位置の情報を受信したサーバーは、ユーザの位置に即したコンテンツを選択してユーザの端末装置へ送信するものである。このように従来の放送サービスは、サーバーにてコンテンツを編集するものである。

【特許文献1】特開2000-222331号公報

【発明の開示】

【発明が解決しようとする課題】

【0004】

しかしながら、従来の端末装置及び受信データ表示方法においては、サーバーがユーザの位置情報を参照してユーザの現在地の近辺のお店の情報をユーザに配信するようなサービスであり、自分自身が購入するための商品の情報が配信されるサービスはあるものの、贈答を考慮した商品の情報がユーザに配信されるサービスは存在していない。そのため、放送サービスを用いて贈答品を選択する際には、知人等のために適切な贈答品を選択することが困難であるという問題がある。さらに、従来の端末装置及び受信データ表示方法においては、知人の嗜好等を忘れてしまった場合、または贈答品購入時に知人の嗜好等をメモした紙を持っていない場合には、知人への贈答品として不適切な商品を購入してしまう可能性があるという問題がある。

【0005】

本発明はかかる点に鑑みてなされたものであり、贈答相手を考慮して商品の情報を表示することにより、贈答相手毎に贈答品として最も適切な商品を容易に選択することができる端末装置及び受信データ表示方法を提供することを目的とする。

【課題を解決するための手段】

【0006】

本発明の端末装置は、あらかじめ決められた贈答相手の特徴を示す情報である人物情報を記憶する人物情報記憶手段と、贈答品を受け取ると想定される受取人の特徴を示す情報である受取人情報と前記受取人情報を含む前記贈答品の情報である商品情報とを受信する受信手段と、特徴が前記贈答相手と一致する受取人の前記受取人情報を含む前記商品情報が先頭になるように前記受信手段にて受信した前記商品情報を並べる商品情報選択手段と、前記商品情報選択手段にて並べられた順番に前記商品情報を表示する表示手段と、を具備する構成を採る。

【0007】

この構成によれば、特徴が贈答相手と一致する受取人の受取人情報を含む商品情報が先頭になるように商品情報を並べて表示することにより、端末装置のユーザは表示された商品情報を先頭から順番に見て気に入った商品を贈答品として選択することができるので、贈答相手毎に贈答品として最も適切な商品を容易に選択することができる。

【0008】

本発明の端末装置は、前記構成において、現在の日時を計測する計測手段と、前記人物情報記憶手段に前記人物情報として記憶されている特定の日時から前記計測手段にて計測された現在の日時を減算した結果がしきい値以下である前記贈答相手を選択するイベント

決定手段とを具備し、前記商品情報選択手段は、前記イベント決定手段にて選択された前記贈答相手の特徴と一致する特徴の受取人の前記受取人情報を含む前記商品情報が先頭になるように、前記受信手段にて受信した前記商品情報を並べる構成を採る。

【0009】

この構成によれば、前記効果に加えて、イベントが近づいた場合にイベントが近づいた贈答相手に適した商品情報を先頭に表示するので、誕生日等のイベントにプレゼントすることを忘れてしまうことを防ぐことができる。

【0010】

本発明の端末装置は、前記構成において、前記商品情報選択手段は、通信頻度がしきい値以上である前記贈答相手の前記商品情報が先頭になるように、前記受信手段にて受信した前記商品情報を並べる構成を採る。

【0011】

この構成によれば、前記効果に加えて、人物情報として記憶されている人物等の内、通信頻度がしきい値以上である親密な関係にある人物等に適した商品情報を先頭に表示することにより、プレゼントするほど親密な関係にない人物等に適した商品情報は先頭に表示されないの、自分がプレゼントする意思のない人物等に適した商品情報が最初に目に付くことによる煩わしさをなくすることができる。

【0012】

本発明の端末装置は、あらかじめ決められた贈答相手の特徴を示す情報である人物情報を記憶する人物情報記憶手段と、贈答品を受け取ると想定される受取人の特徴を示す情報である受取人情報と前記受取人情報を含む前記贈答品の情報である商品情報とを受信する受信手段と、前記贈答相手の特徴と前記受取人の特徴とが一致するか否かを判定するとともに一致する判定の結果が得られた場合には特徴が前記贈答相手と一致する受取人の前記受取人情報を含む前記商品情報を選択する商品情報選択手段と、特徴が一致する場合の前記判定の結果を含めて前記商品情報選択手段にて選択された前記商品情報を表示する表示手段と、を具備する構成を採る。

【0013】

この構成によれば、特徴が贈答相手と一致する受取人の受取人情報を含む商品情報を、特徴が一致する判定結果とともに表示することにより、端末装置のユーザは表示された商品情報の判定結果を見て気に入った商品を贈答品として選択することができるので、贈答相手毎に贈答品として最も適切な商品を容易に選択することができる。

【0014】

本発明の端末装置は、前記構成において、現在の日時を計測する計測手段と、前記人物情報記憶手段に前記人物情報として記憶されている特定の日時から前記計測手段にて計測された現在の日時を減算した結果がしきい値以下である前記贈答相手を選択するイベント決定手段とを具備し、前記表示手段は、前記イベント決定手段にて選択された前記贈答相手の特徴が前記受取人の特徴と一致する場合の前記判定の結果を含めて、前記商品情報選択手段にて選択された前記商品情報を表示する構成を採る。

【0015】

この構成によれば、前記効果に加えて、イベントが近づいた場合にイベントが近づいた贈答相手に適した商品情報を、イベントが近づいた贈答相手の特徴と一致する判定結果とともに表示するので、誕生日等のイベントにプレゼントすることを忘れてしまうことを防ぐことができる。

【0016】

本発明の端末装置は、前記構成において、前記表示手段は、通信頻度がしきい値以上である前記贈答相手の特徴が前記受取人の特徴と一致する場合の前記判定の結果を含めて、前記商品情報選択手段にて選択された前記商品情報を表示する構成を採る。

【0017】

この構成によれば、前記効果に加えて、人物情報として記憶されている人物等の内、通信頻度がしきい値以上である親密な関係にある人物等に適した商品情報を、親密な関係に

ある人物の特徴と一致する判定結果とともに表示するので、自分がプレゼントする意思のない人物等に適した商品情報が最初に目に付くことによる煩わしさをなくすることができる。

【0018】

本発明の端末装置は、前記構成において、前記商品情報選択手段にて選択された前記商品情報の前記贈答品における前記特定の日時より前の購入期限日を記憶するスケジュール記憶手段を具備し、前記表示手段は、前記スケジュール記憶手段にて記憶されている前記購入期限日を前記購入期限日まで表示する構成を採る。

【0019】

この構成によれば、前記効果に加えて、選択された商品情報の商品の購入期限日がスケジュール記憶手段に記憶されるとともに、スケジュール記憶手段に記憶されている購入期限日を表示させることができるので、選択された商品情報が表示された場合に直ちに購入するか否かを判断する煩わしさを解消することができる。

【0020】

本発明の配信サーバーは、前記に記載の端末装置に前記商品情報を送信する配信サーバーであって、前記配信サーバーは、前記受取人情報を含む前記商品情報を生成する商品情報生成手段と、前記商品情報生成手段にて生成された前記商品情報を送信する送信手段と、を具備する構成を採る。

【0021】

この構成によれば、配信サーバー側にて贈答相手を考慮して商品情報を表示できるような処理を行う必要がないので、配信サーバーの負荷を軽減することができる。

【0022】

本発明の受信データ表示方法は、あらかじめ決められた贈答相手の特徴を示す情報である人物情報を記憶するステップと、贈答品を受け取ると想定される受取人の特徴を示す情報である受取人情報と前記受取人情報を含む前記贈答品の情報である商品情報とを受信するステップと、特徴が前記贈答相手と一致する受取人の前記受取人情報を含む前記商品情報が先頭になるように受信した前記商品情報を並べるステップと、並べられた順番に前記商品情報を表示するステップと、を具備するようにした。

【0023】

この方法によれば、特徴が贈答相手と一致する受取人の受取人情報を含む商品情報が先頭になるように商品情報を並べて表示することにより、端末装置のユーザは表示された商品情報を先頭から順番に見て気に入った商品を贈答品として選択することができるので、贈答相手毎に贈答品として最も適切な商品を容易に選択することができる。

【0024】

本発明の受信データ表示方法は、前記方法において、現在の日時を計測するステップと、前記人物情報として記憶されている特定の日時から計測された現在の日時を減算した結果がしきい値以下である前記贈答相手を選択するステップとを具備し、選択された前記贈答相手の特徴と一致する特徴の受取人の前記受取人情報を含む前記商品情報が先頭になるように、受信した前記商品情報を並べるようにした。

【0025】

この方法によれば、前記効果に加えて、イベントが近づいた場合にイベントが近づいた贈答相手に適した商品情報を先頭に表示するので、誕生日等のイベントにプレゼントすることを忘れてしまうことを防ぐことができる。

【0026】

本発明の受信データ表示方法は、前記方法において、通信頻度がしきい値以上である前記贈答相手の前記商品情報が先頭になるように、受信した前記商品情報を並べるようにした。

【0027】

この方法によれば、前記効果に加えて、人物情報として記憶されている人物等の内、通信頻度がしきい値以上である親密な関係にある人物等に適した商品情報を先頭に表示する

ことにより、プレゼントするほど親密な関係にない人物等に適した商品情報は先頭に表示されないの、自分がプレゼントする意思のない人物等に適した商品情報が最初に目に付くことによる煩わしさをなくすることができる。

【0028】

本発明の受信データ表示方法は、あらかじめ決められた贈答相手の特徴を示す情報である人物情報を記憶するステップと、贈答品を受け取ると想定される受取人の特徴を示す情報である受取人情報と前記受取人情報を含む前記贈答品の情報である商品情報とを受信するステップと、前記贈答相手の特徴と前記受取人の特徴とが一致するか否かを判定するとともに一致する判定の結果が得られた場合には特徴が前記贈答相手と一致する受取人の前記受取人情報を含む前記商品情報を選択するステップと、特徴が一致する場合の前記判定の結果を含めて選択された前記商品情報を表示するステップと、を具備するようにした。

【0029】

この方法によれば、特徴が贈答相手と一致する受取人の受取人情報を含む商品情報を、特徴が一致する判定結果とともに表示することにより、端末装置のユーザは表示された商品情報の判定結果を見て気に入った商品を贈答品として選択することができるので、贈答相手毎に贈答品として最も適切な商品を容易に選択することができる。

【0030】

本発明の受信データ表示方法は、前記方法において、現在の日時を計測するステップと、前記人物情報として記憶されている特定の日時から計測された現在の日時を減算した結果がしきい値以下である前記贈答相手を選択するステップとを具備し、選択された前記贈答相手の特徴が前記受取人の特徴と一致する場合の前記判定の結果を含めて、選択された前記商品情報を表示するようにした。

【0031】

この方法によれば、前記効果に加えて、イベントが近づいた場合にイベントが近づいた贈答相手に適した商品情報を、イベントが近づいた贈答相手の特徴と一致する判定結果とともに表示するので、誕生日等のイベントにプレゼントすることを忘れてしまうことを防ぐことができる。

【0032】

本発明の受信データ表示方法は、前記方法において、通信頻度がしきい値以上である前記贈答相手の特徴が前記受取人の特徴と一致する場合の前記判定の結果を含めて、選択された前記商品情報を表示するようにした。

【0033】

この方法によれば、前記効果に加えて、人物情報として記憶されている人物等の内、通信頻度がしきい値以上である親密な関係にある人物等に適した商品情報を、親密な関係にある人物の特徴と一致する判定結果とともに表示するので、自分がプレゼントする意思のない人物等に適した商品情報が最初に目に付くことによる煩わしさをなくすることができる。

【0034】

本発明の受信データ表示方法は、前記方法において、選択された前記商品情報の前記贈答品における前記特定の日時より前の購入期限日を記憶するステップを具備し、記憶されている前記購入期限日を前記購入期限日まで表示するようにした。

【0035】

この方法によれば、前記効果に加えて、選択された商品情報の商品の購入期限日が記憶されるとともに、記憶されている購入期限日を表示させることができるので、選択された商品情報が表示された場合に直ちに購入するか否かを判断する煩わしさを解消することができる。

【発明の効果】

【0036】

本発明によれば、贈答相手を考慮して商品の情報を表示することにより、贈答相手毎に贈答品として最も適切な商品を容易に選択することができる。

【発明を実施するための最良の形態】**【0037】**

本発明の骨子は、あらかじめ決められた贈答相手の特徴を示す情報である人物情報の贈答相手の特徴が、受信した商品の情報である商品情報に含まれる贈答品を受け取る想定される受取人の特徴を示す情報である受取人情報の受取人の特徴に該当する場合には、該当する受取人の特徴の受取人情報を含む商品情報が先頭になるように商品情報を並べて表示することである。また、贈答相手の特徴と受取人の特徴とが一致するか否かを判定するとともに、一致する判定の結果が得られた場合には、特徴が贈答相手と一致する受取人の受取人情報を含む商品情報を、特徴が一致する場合の判定の結果を含めて表示することである。

【0038】

以下、本発明の実施の形態について、図面を参照して詳細に説明する。

【0039】**(実施の形態1)**

図1は、本発明の実施の形態1に係る端末装置100の構成を示すブロック図である。

【0040】

データ受信部102は、アンテナ101にて受信した受信信号を無線周波数からベースバンド周波数にダウンコンバートして商品情報受信部103へ出力する。

【0041】

商品情報受信部103は、データ受信部102から入力した受信信号より、属性情報を含む商品情報を抽出して商品情報選択部105へ出力する。属性情報には、受取人情報、商品分野情報及び適切度情報が含まれている。ここで、商品情報とは贈答品としての商品の情報であり、受取人情報とは商品毎の贈答品を受け取るのに適しているものと想定される受取人の特徴を示す情報であり、適切度情報とは各商品における贈答品としての一般的な適切度の情報であり、商品分野情報とは商品の分野を示す情報である。

【0042】

記憶部104は、端末装置100のユーザが贈答相手としてあらかじめ決めている人物または会社等の贈答相手毎の特徴を示す情報である人物情報を記憶しており、商品情報受信部103から商品情報選択部105に商品情報が入力するタイミングにて、記憶している人物情報を商品情報選択部105へ出力する。ここで、人物情報は、性別、年齢、電話番号、住所、電子メールのアドレス、誕生日、記念日等のイベントの発生する特定日時及びこれらの組み合わせ等の情報である。

【0043】

商品情報選択部105は、商品情報受信部103から入力した商品情報と記憶部104から入力した人物情報とに基づいて商品情報を選択する。例えば、商品情報選択部105は、人物情報の贈答相手の性別及び年齢と受取人情報の受取人の性別及び年齢とが一致するか否かを判定し、人物情報の贈答相手の性別及び年齢と一致する性別及び年齢の受取人の受取人情報を選択するとともに、選択した受取人情報を含む商品情報を選択する。そして、商品情報選択部105は、選択した商品情報を先頭に並べる処理、または選択した商品情報に対して、特徴が一致した場合の判定結果の情報を加える処理を行った後に商品情報をデータ表示部106へ出力する。

【0044】

データ表示部106は、商品情報選択部105から入力した商品情報を並べられている順番にて表示する。なお、商品情報を表示する方法については後述する。

【0045】

次に、配信サーバー200の構成について、図2を用いて説明する。図2は、配信サーバー200の構成を示すブロック図である。

【0046】

属性データ入力部201は、外部から入力した商品毎の商品分野のデータ、贈答品としての商品毎の想定される受取人のデータ及び商品毎の贈答品としての一般的な適切度を示

す適切度のデータを商品情報生成部 203 へ出力する。

【0047】

商品データ入力部 202 は、外部から入力した贈答品としての商品のデータを商品情報生成部 203 へ出力する。

【0048】

商品情報生成部 203 は、商品データ入力部 202 から入力した商品のデータと、属性データ入力部 201 から入力した商品分野のデータ、受取人のデータ及び適切度のデータとを用いて、贈答品としての各商品のデータに対応する商品分野のデータ、受取人のデータ及び適切度のデータを選択した後、各商品のデータに選択した商品分野のデータ、受取人のデータ及び適切度のデータを含めて商品情報を生成して商品情報送信部 204 へ出力する。商品分野のデータ、受取人のデータ及び適切度のデータを商品のデータに含めることにより、商品情報に属性情報としての商品分野情報、受取人情報及び適切度情報が含まれることとなる。

【0049】

商品情報送信部 204 は、商品情報生成部 203 から入力した商品情報を送信信号として送信する。

【0050】

次に、配信サーバー 200 から送信された配信データとしての商品情報を端末装置 100 が受信するまでについて、図 3～図 5 を用いて説明する。

【0051】

図 3 より、配信サーバー 200 は、XML 形式のデータである商品情報をコアネットワーク 301 へ出力する。図 4 に示すように、各商品情報は<ITEM>と</ITEM>とで囲まれた<ITEM>タグにて指定されており、任意の順序で整列している。また、各商品情報において、商品名は<NAME>と</NAME>とで囲まれた<NAME>タグにて指定されており、メーカー名は<MAKER>と</MAKER>とで囲まれた<MAKER>タグにて指定されており、型番は<TYPE>と</TYPE>とで囲まれた<TYPE>タグにて指定されており、販売価格は<PRICE>と</PRICE>とで囲まれた<PRICE>タグにて指定されているとともに、ユーザが購入する場合の接続先は<URL>と</URL>とで囲まれた<URL>タグにて指定されている。さらに、各商品情報において、属性情報は<META>と</META>とで囲まれた<META>タグにて指定されている。受取人情報は、例えば年齢及び性別の情報である。この場合、年齢は「AGE」、性別は「SEX」、商品分野は「GENRE」及び適切度は「PRESENT」で表される。このような属性情報は、商品の販売業者が効率的な販売ができるようにするために、マーケティングの経験等に基づいて決める。なお、性別「SEX」の指定がない属性情報は、男性及び女性の両方を対象にしているものとする。

【0052】

図 5 は、各商品情報に含まれる属性情報を示す図である。図 5 より、例えば、商品「ノートパソコン」の商品情報#401に含まれる属性情報#410は、図 5 (a) に示すように、「年齢=20歳～50歳」の受取人情報#501a、「商品分野=電器」の商品分野情報#502a及び「適切度=10%」の適切度情報#503aを含んでいる。また、商品「デジタルカメラ」の商品情報#402に含まれる属性情報#411は、図 5 (b) に示すように、「年齢=20歳～40歳」と「性別=男性」との受取人情報#501b、「商品分野=電器」の商品分野情報#502b及び「適切度=70%」の適切度情報#503bを含んでいる。商品「バラ」の商品情報#403に含まれる属性情報#412は、図 5 (c) に示すように、「年齢=20歳～50歳」と「性別=女性」との受取人情報#501c、「商品分野=花」の商品分野情報#502c及び「適切度=90%」の適切度情報#503cを含んでいる。商品「マッサージ器」の商品情報#404に含まれる属性情報#413は、図 5 (d) に示すように、「年齢=50歳～60歳」の受取人情報#501d、「商品分野=電器」の商品分野情報#502d及び「適切度=70%」の適切度情報#503dを含んでいる。商品「プリンタ」の商品情報#405に含まれる属性情報

#414は、図5(e)に示すように、「年齢=20歳~40歳」と「性別=男性」との受取人情報#501e、「商品分野=電器」の商品分野情報#502(e)及び「適切度=10%」の適切度情報#503(e)を含んでいる。

【0053】

配信サーバー200から配信された図4に示す各商品情報は、コアネットワーク301を介して各ネットワーク制御装置302a、302bに到着する。各ネットワーク制御装置302a、302bは、複数の基地局装置に配信データを伝送することが可能であり、ネットワーク制御装置302aはセル#310の基地局装置303aへ商品情報を伝送し、ネットワーク制御装置302bはセル#311の基地局装置303b、セル#312の基地局装置303c及びセル#313の基地局装置303dへ商品情報を伝送する。そして、各基地局装置は、セル内にて通信を行っている端末装置100へ商品情報を送信する。端末装置100は、商品情報を受信して、受信した商品情報を適応的に変換して表示する。

【0054】

次に、商品情報を受信した端末装置100にて商品情報を表示する方法について、図6~図10を用いて説明する。図6は、記憶部104にて記憶している人物情報を示す図であり、図7は、商品情報選択部105より出力される商品情報を示す図であり、図8~図10は、端末装置100に表示される商品情報を示す図である。

【0055】

商品情報を受信した端末装置100は、商品情報選択部105において、図6に示す人物情報における各贈答相手の特徴を示す情報と、図4に示す各商品情報に含まれる属性情報とを比較する。そして、商品情報選択部105は、属性情報に含まれる受取人情報の中に、人物情報の各贈答相手の特徴に該当するものがある場合には、該当する受取人情報を含む商品情報を選択する。そして、商品情報選択部105は、選択した商品情報が先頭になるように並べる処理、または選択した商品情報に対して贈答相手の特徴と受取人の特徴とが一致した場合の判定結果の情報を加える処理を行う。

【0056】

例えば、図6より、贈答相手「花子」の人物情報#601において、贈答相手「花子」の特徴である「年齢=23歳」が該当するのは、「年齢=20歳~50歳」の受取人情報#501aを含む属性情報#410、「年齢=20歳~40歳」の受取人情報#501bを含む属性情報#411、「年齢=20歳~50歳」の受取人情報#501cを含む属性情報#412及び「年齢=20歳~40歳」の受取人情報#501eを含む属性情報#414である。また、属性情報#410、#411、#412、#414の内、贈答相手「花子」の人物情報#601において、贈答相手「花子」の特徴である「性別=女性」が該当するのは、「性別=女性」の受取人情報#501aを含む属性情報#410及び「性別=女性」の受取人情報#501cを含む属性情報#412である。さらに、属性情報#410に含まれる「適切度=10%」である適切度情報#503aと属性情報#412に含まれる「適切度=90%」である適切度情報#503cとを比較した結果、適切度情報#503cの方が適切度情報#503aよりも適切度が大きいので、属性情報#412が残ることとなる。したがって、商品情報選択部105は、属性情報#412を含む商品情報#403を選択する。

【0057】

また、贈答相手「ドミニク」の人物情報#602において、贈答相手「ドミニク」の特徴である「年齢=54歳」が該当するのは、「年齢=50歳~60歳」の受取人情報#501dを含む属性情報#413のみである。したがって、商品情報選択部105は、属性情報#413を含む商品情報#404を選択する。なお、図6の人物情報における「趣味・興味」は、属性情報の商品分野「GENRE」に該当するものがなかったため、商品情報を選択する際に用いなかったが、属性情報に「商品分野=音楽」または「商品分野=本」という商品分野があれば、人物情報における「趣味・興味」も用いて商品情報を選択する。

【0058】

次に、商品情報選択部105は、端末装置100に搭載されているブラウザで表示するために、XSLTを用いて商品情報をXML形式のデータからHTML形式のデータに変換する。そして、選択した商品情報を先頭に表示する場合には、図7に示すように、商品情報選択部105は、商品情報#403から変換された商品情報#701及び商品情報#404から変換された商品情報#702が先頭になるように並べる。一方、選択した商品情報を先頭に表示しない場合には、商品情報選択部105は、選択した商品情報#403、#404に対して贈答相手の特徴と受取人の特徴とが一致した場合の判定結果の情報を加えて受信した商品情報の順番のままにする。

【0059】

次に、商品情報選択部105にて選択された商品情報を先頭に表示する場合、データ表示部106は、商品情報#701を商品情報#801として表示するとともに商品情報#702を商品情報#802として表示する。データ表示部106は、「花子さんにお勧め」の文字表示により、贈答相手「花子」へのプレゼントとしてバラを推奨し、バラの価格を付加情報として表示する。そして、端末装置100のユーザがデータ表示部106に表示されている商品情報の下線が引かれている部分を選択（クリック）すると、バラを購入するための次のステップへ進むことができる。また、データ表示部106は、「ドミニクさんにお勧め」の文字表示により、贈答相手「ドミニク」へのプレゼントとしてマッサージ器を推奨し、マッサージ器の価格、メーカー及び型式を付加情報として表示する。そして、端末装置100のユーザがデータ表示部106に表示されている商品情報の下線が引かれている部分を選択（クリック）すると、マッサージ器を購入するための次のステップへ進むことができる。

【0060】

一方、商品情報に含まれる属性情報の属性の中に人物情報の属性を含むものがない場合には、図4及び図9に示すように、商品情報選択部105にてXML形式のデータである商品情報#401をHTML形式のデータに変換した後、商品情報#901としてデータ表示部106に表示する。同様に、商品情報選択部105にてXML形式のデータである商品情報#402をHTML形式のデータに変換した後、商品情報#902としてデータ表示部106に表示し、商品情報選択部105にてXML形式のデータである商品情報#403をHTML形式のデータに変換した後、商品情報#903としてデータ表示部106に表示するとともに、商品情報選択部105にてXML形式のデータである商品情報#404をHTML形式のデータに変換した後、商品情報#904としてデータ表示部106に表示する。

【0061】

また、商品情報選択部105にて選択された商品情報を先頭に表示しない場合、即ち商品情報を受信した順序にて表示する場合、図10に示すように、データ表示部106は、商品情報選択部105にて選択された商品情報#403をHTML形式のデータに変換した後、商品情報#1001として表示するとともに、選択された商品情報#404をHTML形式のデータに変換した後、商品情報#1002として表示する。この時、データ表示部106は、商品情報に商品情報選択部105にて選択されたことが分かる情報が加えられている場合には、商品情報#1001において「花子さん」に適したプレゼントである情報#1003を表示するとともに、商品情報#1002において「ドミニクさん」に適したプレゼントである情報#1004を表示する。なお、データ表示部106は、適切度情報の適切度が大きい商品情報ほどハートマークの数を増やして表示する。

【0062】

このように、本実施の形態1によれば、商品情報に含まれる受取人情報の受取人の特徴の中に、人物情報における贈答相手の特徴において該当するものがある場合には、該当することを考慮して商品情報を表示することにより、端末装置の表示を見れば贈答相手毎に最適な贈答品が一目瞭然であるので、贈答相手毎に贈答品として最も適切な商品を容易に選択することができる。また、本実施の形態1によれば、配信サーバー側にて贈答相手を

考慮して商品情報を表示できるような処理を行う必要がないので、配信サーバーの負荷を軽減することができる。

【0063】

(実施の形態2)

図11は、本発明の実施の形態2に係る端末装置1100の構成を示すブロック図である。

【0064】

本実施の形態2に係る端末装置1100は、図1に示す実施の形態1に係る端末装置100において、図11に示すように、現在日時計測部1101及びイベント決定部1102を追加する。なお、図11においては、図1と同一構成である部分には同一の符号を付してその説明は省略する。

【0065】

現在日時計測部1101は、現在日時を計測し、計測した日時の情報である計測日時情報をイベント決定部1102へ出力する。

【0066】

イベント決定部1102は、記憶部104から入力した人物情報における贈答相手の特徴を示す特定の日時から現在日時計測部1101から入力した計測日時情報の日時を減算する。そして、イベント決定部1102は、減算した結果がしきい値以下である場合にはイベントが近づいているものと判定し、近づいているイベントの情報と減算した結果がしきい値以下である贈答相手の人物情報とを商品情報選択部105へ出力する。一方、イベント決定部1102は、減算した結果がしきい値より大きい場合には何も出力しない。

【0067】

商品情報選択部105は、イベント決定部1102からイベントの情報及び人物情報が入力した場合には、商品情報受信部103から入力した商品情報とイベント決定部1102から入力した人物情報とに基づいて商品情報を選択し、イベントの情報と選択した商品情報とを並べてデータ表示部106へ出力する。

【0068】

次に、端末装置1100の商品情報選択部105の動作について、図12を用いて説明する。図12は、商品情報選択部105の動作を説明するフロー図である。なお、端末装置1100は、図4に示す商品情報を受信するとともに、記憶部104は図6に示す人物情報を記憶しているものとする。

【0069】

最初に、商品情報選択部105は、人物一人分の人物情報を読み込む(ステップST1201)。

【0070】

次に、商品情報選択部105は、各人物の人物情報の内の「誕生日」が現在の日時から所定日数以内であるイベントの情報が入力されたか否か、即ち各人物の「誕生日」の日付から計測日時情報の日付を減算した結果がしきい値以下であるイベントの情報が入力されたか否かを判定する(ステップST1202)。

【0071】

各贈答相手の「誕生日」が現在の日時から所定日数以内であるイベントの情報が入力された場合には、商品情報選択部105は、商品情報に含まれる受取人情報の特徴の中に、「誕生日」が現在の日時から所定日数以内である贈答相手の人物情報における「誕生日」以外の特徴において、該当するものがあるか否かを判定し、該当する特徴の受取人情報がある場合には該当する受取人情報を含む商品情報を選択する(ステップST1203)。

【0072】

例えば、現在の日時が9月15日でしきい値を7日に設定した場合、9月15日から7日後の9月22日までに誕生日がくるのは贈答相手「花子」と贈答相手「ドミニク」であるため、贈答相手「花子」及び贈答相手「ドミニク」が選択される。そして、商品情報選択部105は、上記実施の形態1と同様の方法により、商品情報に含まれる受取人情報の

特徴の中に、贈答相手「花子」の人物情報の「誕生日」以外の「性別＝女性」及び「年齢＝23歳」の特徴において、該当するものがあるか否かを判定して商品情報を選択する。同様に、商品情報に含まれる受取人情報の特徴の中に、贈答相手「ドミニク」の人物情報の「誕生日」以外の「性別＝男性」及び「年齢＝54歳」の特徴において、該当するものがあるか否かを判定して商品情報を選択する。即ち、属性情報#412の受取人情報#501cは「年齢＝20歳～50歳」及び「性別＝女性」であるので、贈答相手「花子」の特徴である「性別＝女性」及び「年齢＝23歳」が該当することとなり、商品情報選択部105は属性情報#412を含む商品情報#403を選択する。同様に、属性情報#413の受取人情報#501dは「年齢＝50歳～60歳」及び「性別＝男性」であるので、贈答相手「ドミニク」の特徴である「性別＝男性」及び「年齢＝54歳」が該当することとなり、商品情報選択部105は属性情報#413を含む商品情報#404を選択する。

【0073】

一方、各贈答相手の特徴である「誕生日」が現在の日時から所定日数以内であるイベントの情報が入力されない場合には、商品情報選択部105は、商品情報を選択しない（ステップST1204）。

【0074】

次に、商品情報選択部105は、全ての贈答相手としての人物について、人物情報の内の「誕生日」の日付から計測日時情報の日付を減算して減算の結果としきい値との比較が終了したか否か、即ち人物が残存しているか否かを判定する（ステップST1205）。

【0075】

人物が残存している場合には、商品情報選択部105は、ステップST1201からステップST1204までの処理を繰り返す。

【0076】

一方、人物が残存していない場合には、商品情報選択部105は処理を終了する。

【0077】

図13は、商品情報選択部105から出力されるHTML形式のデータに変換された商品情報を示す図であり、図14は、データ表示部106にて商品情報を表示した状態を示す図である。

【0078】

図13より、HTML形式のデータに変換された商品情報#1301は、贈答相手「花子」の人物情報における特徴に基づいて選択した商品情報であるため、「花子さんへの誕生日プレゼントのお勧め。」というイベントの情報#1310を含んでいる。同様に、HTML形式のデータに変換された商品情報#1302は、贈答相手「ドミニク」の人物情報における特徴に基づいて選択した商品情報であるため、「ドミニクさんへの誕生日プレゼントのお勧め。」というイベントの情報#1311を含んでいる。

【0079】

そして、図14に示すように、イベントの情報#1310を含む商品情報#1301は、イベントの情報#1410を含む商品情報#1401としてデータ表示部106に表示される。同様に、イベントの情報#1311を含む商品情報#1302は、イベントの情報#1411を含む商品情報#1402としてデータ表示部106に表示される。なお、商品情報を並べる方法については、上記の実施の形態1と同一であるのでその説明は省略する。

【0080】

このように、本実施の形態2によれば、上記実施の形態1の効果に加えて、各贈答相手の人物情報を用いてイベントが近づいているか否かを判定して、イベントが近づいている適切な時期に商品情報とイベントの情報とを先頭に表示するので、誕生日等のイベントにプレゼントすることを忘れてしまうことを確実に防ぐことができる。

【0081】

なお、本実施の形態2において、誕生日が近づいている贈答相手に適した商品情報を先頭に表示することとしたが、これに限らず、上記実施の形態1と同様に誕生日が近づいて

いる贈答相手に適した商品情報に対して、プレゼントとして適している旨の情報を表示するとともに、受信した商品情報の順番のまま商品情報を表示するようにしても良い。

【0082】

(実施の形態3)

図15は、本発明の実施の形態3に係る端末装置1500の構成を示すブロック図である。なお、図15においては、図1と同一構成である部分には同一の符号を付してその説明は省略する。また、配信サーバーの構成は図2と同一構成であるので、その説明は省略する。

【0083】

商品情報選択部105は、商品情報受信部103から入力した商品情報、記憶部104から入力した人物情報、親密度情報及びしきい値の情報に基づいて商品情報を選択する。ここで、親密度情報とは、贈答相手との過去の通話の頻度の情報または贈答相手との過去の電子メールによる送受信の頻度の情報等である。例えば、商品情報選択部105は、通話の頻度がしきい値以上である人物情報における贈答相手の性別及び年齢と一致する性別及び年齢の受取人情報を選択するとともに、選択した受取人情報を含む商品情報を選択する。そして、商品情報選択部105は、選択した商品情報を先頭に並べて商品情報をデータ表示部106へ出力する。

【0084】

このように、本実施の形態3によれば、上記実施の形態1の効果に加えて、人物情報として記憶されている人物または会社の内、親密な関係にある人物等に対して適した商品情報を先頭に表示することにより、プレゼントするほど親密な関係にない人物等に適した商品情報は先頭に表示されないのので、自分がプレゼントする意思のない人物等に適した商品情報が最初に目に付くことによる煩わしさをなくすることができる。

【0085】

なお、本実施の形態3において、選択した贈答相手に適した商品情報を先頭に表示することとしたが、これに限らず、上記実施の形態1と同様に選択した贈答相手に適した商品情報に対して、プレゼントとして適している旨の情報を表示するとともに、受信した商品情報の順番のまま商品情報を表示するようにしても良い。

【0086】

(実施の形態4)

図16は、本発明の実施の形態4に係る端末装置1600の構成を示すブロック図である。

【0087】

本実施の形態4に係る端末装置1600は、図1に示す実施の形態1に係る端末装置100において、図16に示すように、スケジュール記憶部1601を追加する。なお、図16においては、図1と同一構成である部分には同一の符号を付してその説明は省略する。

【0088】

商品情報選択部105は、商品情報受信部103から入力した商品情報と記憶部104から入力した人物情報とに基づいて商品情報を選択する。例えば、商品情報選択部105は、人物情報の贈答相手の性別及び年齢と一致する性別及び年齢の受取人情報を選択するとともに、選択した受取人情報を含む商品情報を選択する。そして、商品情報選択部105は、選択した商品情報を先頭に並べてデータ表示部106へ出力する。また、商品情報選択部105は、選択した商品の情報、選択した商品を贈答する贈答相手の情報及び贈答相手の「誕生日」の情報からなる選択情報をスケジュール記憶部1601へ出力する。

【0089】

スケジュール記憶部1601は、商品情報選択部105から入力した選択情報をスケジュール帳の情報であるスケジュール帳情報として記憶する。また、スケジュール記憶部1601は、端末装置1600のユーザの操作により任意のタイミングにて制御信号が入力した場合には、記憶しているスケジュール帳情報をデータ表示部106へ出力する。

【0090】

データ表示部106は、商品情報選択部105から入力した商品情報を並べられている順番にて表示する。また、データ表示部106は、スケジュール記憶部1601から入力したスケジュール帳情報のスケジュール帳を表示する。

【0091】

図17は、データ表示部106にてスケジュール帳情報のスケジュール帳が表示された状態を示す図である。選択情報における選択した商品の情報である「バラ」の情報、選択した商品を贈答する贈答相手の情報である「花子さん」の情報及び贈答相手の「誕生日」の情報である「9月17日」の情報より、「花子さんへのプレゼント バラ購入期限」の文字情報がスケジュール帳情報に書き込まれる。この時、花子さんの誕生日は9月17日であるので、2日前の9月15日に購入期限日として「花子さんへのプレゼント バラ購入期限」の文字情報#1702が書き込まれる。スケジュール記憶部1601に書き込まれた「花子さんへのプレゼント バラ購入期限」の文字情報は、データ表示部106にて図17に示すように表示される。そして、端末装置1600のユーザが、「花子さんへのプレゼント バラ購入期限」の表示部分を選択（クリック）することにより、購入画面に接続される。「花子さんへのプレゼント バラ購入期限」の表示は、購入期限日である9月15日まで表示され、9月15日が経過した後は「花子さんへのプレゼント バラ購入期限」の文字情報は抹消される。

【0092】

このように、本実施の形態4によれば、上記実施の形態1の効果に加えて、選択された商品情報がアドレス帳情報に書き込まれるとともに、後日、アドレス帳情報を呼び出して選択された商品情報及び購入期限日を表示させることができるので、選択された商品情報が表示された場合に直ちに購入するか否かを判断する煩わしさを解消することができる。

【0093】

なお、本実施の形態4において、選択した贈答相手に適した商品情報を先頭に表示することとしたが、これに限らず、上記実施の形態1と同様に選択した贈答相手に適した商品情報に対して、プレゼントとして適している旨の情報を表示するとともに、受信した商品情報の順番のまま商品情報を表示するようにしても良い。

【0094】

（その他の実施の形態）

本実施の形態においては、図10に示す端末装置と同一構成の端末装置を用いるとともに、図6に示す人物情報の「誕生日」を「クリスマス」に代えて全て同じ日時とする人物情報を用いるものである。なお、配信サーバーの構成は、図2と同一構成であるので、その説明は省略する。

【0095】

しきい値を7日として12月20に商品情報を受信した場合には、7日後の12月27日までにはクリスマスがくるので、図18に示すように、データ表示部106には、イベントの情報#1801として「クリスマスプレゼントはいかが?」を先頭に表示し、商品情報#1802及び商品情報#1803をイベントの情報#1801の次に表示する。

【0096】

このように、本実施の形態によれば、上記実施の形態1の効果に加えて、クリスマス等の全ての贈答相手に共通のイベントが近づいているか否かを判定して、共通のイベントが近づいている場合には商品情報とともにイベントの情報も先頭に表示するので、クリスマス等の全ての贈答相手に共通のイベントにプレゼントすることを忘れてしまうことを防ぐことができる。

【0097】

なお、上記実施の形態1～実施の形態4及びその他の実施の形態において、人物情報における特定の日時として「誕生日」または「クリスマス」を用いることとしたが、これに限らず、結婚記念日等の任意のイベントの日時を用いることが可能である。また、上記実施の形態1～実施の形態4及びその他の実施の形態において、複数の適切度情報の適切度

を互いに比較して、適切度が大きな方の適切度情報を含む商品情報を先頭に表示することとしたが、これに限らず、適切度と比較するしきい値を設定して、適切度がしきい値以上である適切度情報を含む商品情報を先頭に表示するようにしても良い。また、上記実施の形態1～実施の形態4及びその他の実施の形態において、商品情報をXML形式のデータとしたが、これに限らず、任意の形式のデータにすることが可能である。また、上記実施の形態1～実施の形態4及びその他の実施の形態において、表示用記述形式としてHTML言語を用いたが、これに限らず、任意の記述方式に従って記述することが可能である。また、上記実施の形態1～実施の形態4及びその他の実施の形態において、XML記述のタグ名称として「ITEM」及び「META」等を用いたが、これに限らず、任意のタグ名を付けることができる。また、上記実施の形態1～実施の形態4及びその他の実施の形態において、「性別」、「年齢」、「商品分野」及び「適切度」以外の任意の項目を含む属性情報を用いることが可能である。

【産業上の利用可能性】

【0098】

本発明にかかる端末装置及び受信データ表示方法は、贈答相手を考慮して商品の情報を表示することにより、贈答相手毎に贈答品として最も適切な商品を容易に選択する効果を有し、受信データを表示するのに有用である。

【図面の簡単な説明】

【0099】

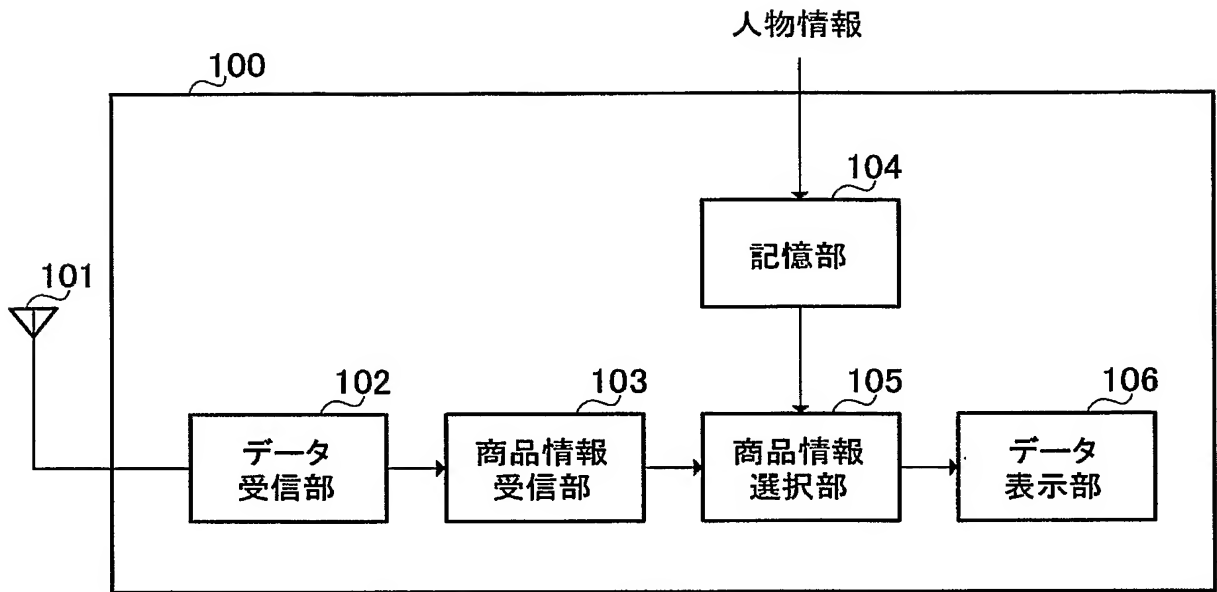
- 【図1】 本発明の実施の形態1に係る端末装置の構成を示すブロック図
- 【図2】 本発明の実施の形態1に係る配信サーバーの構成を示すブロック図
- 【図3】 本発明の実施の形態1に係るネットワークを示す模式図
- 【図4】 本発明の実施の形態1に係る商品情報を示す図
- 【図5】 本発明の実施の形態1に係る属性情報を示す図
- 【図6】 本発明の実施の形態1に係る人物情報を示す図
- 【図7】 本発明の実施の形態1に係る商品情報を示す図
- 【図8】 本発明の実施の形態1に係る商品情報を表示した状態を示す図
- 【図9】 本発明の実施の形態1に係る商品情報を表示した状態を示す図
- 【図10】 本発明の実施の形態1に係る商品情報を表示した状態を示す図
- 【図11】 本発明の実施の形態2に係る端末装置の構成を示すブロック図
- 【図12】 本発明の実施の形態2に係る商品情報選択部の動作を示すフロー図
- 【図13】 本発明の実施の形態2に係る商品情報を示す図
- 【図14】 本発明の実施の形態2に係る商品情報を表示した状態を示す図
- 【図15】 本発明の実施の形態3に係る端末装置の構成を示すブロック図
- 【図16】 本発明の実施の形態4に係る端末装置の構成を示すブロック図
- 【図17】 本発明の実施の形態4に係るスケジュール帳情報を示す図
- 【図18】 本発明のその他の実施の形態に係る商品情報を表示した状態を示す図

【符号の説明】

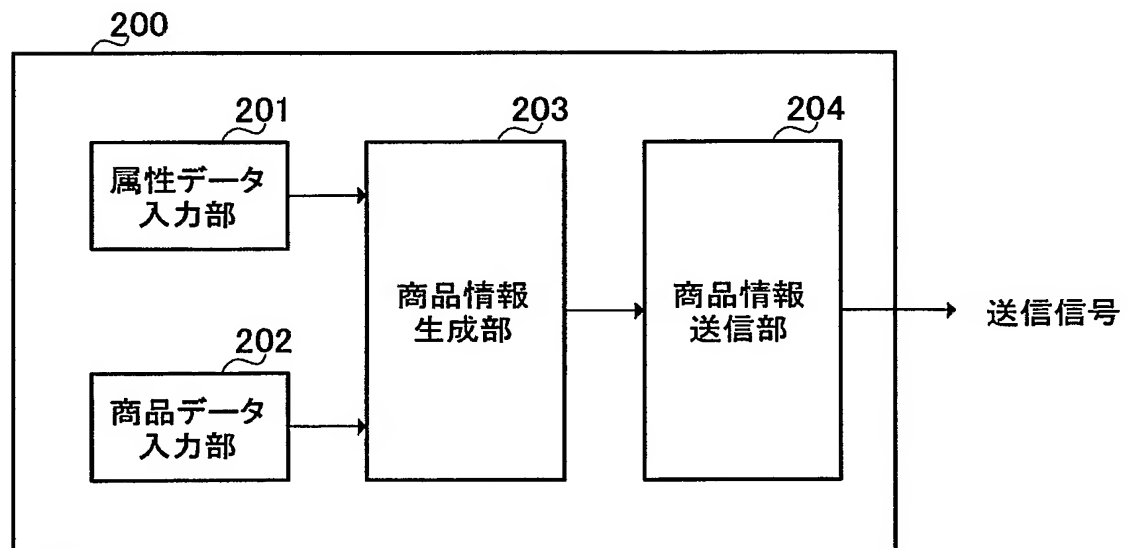
【0100】

- 100 端末装置
- 102 データ受信部
- 103 商品情報受信部
- 104 記憶部
- 105 商品情報選択部
- 106 データ表示部

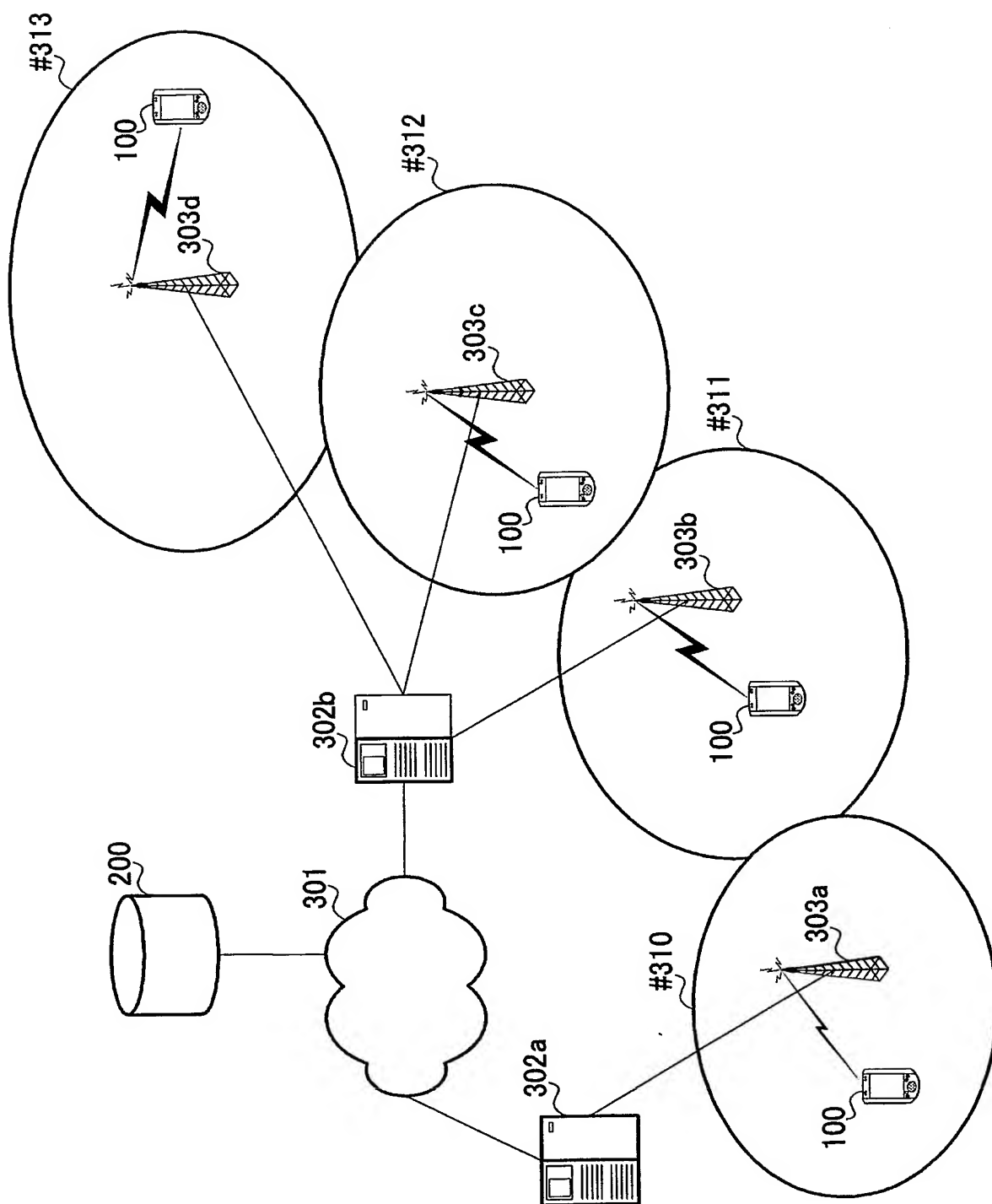
【書類名】 図面
【図 1】



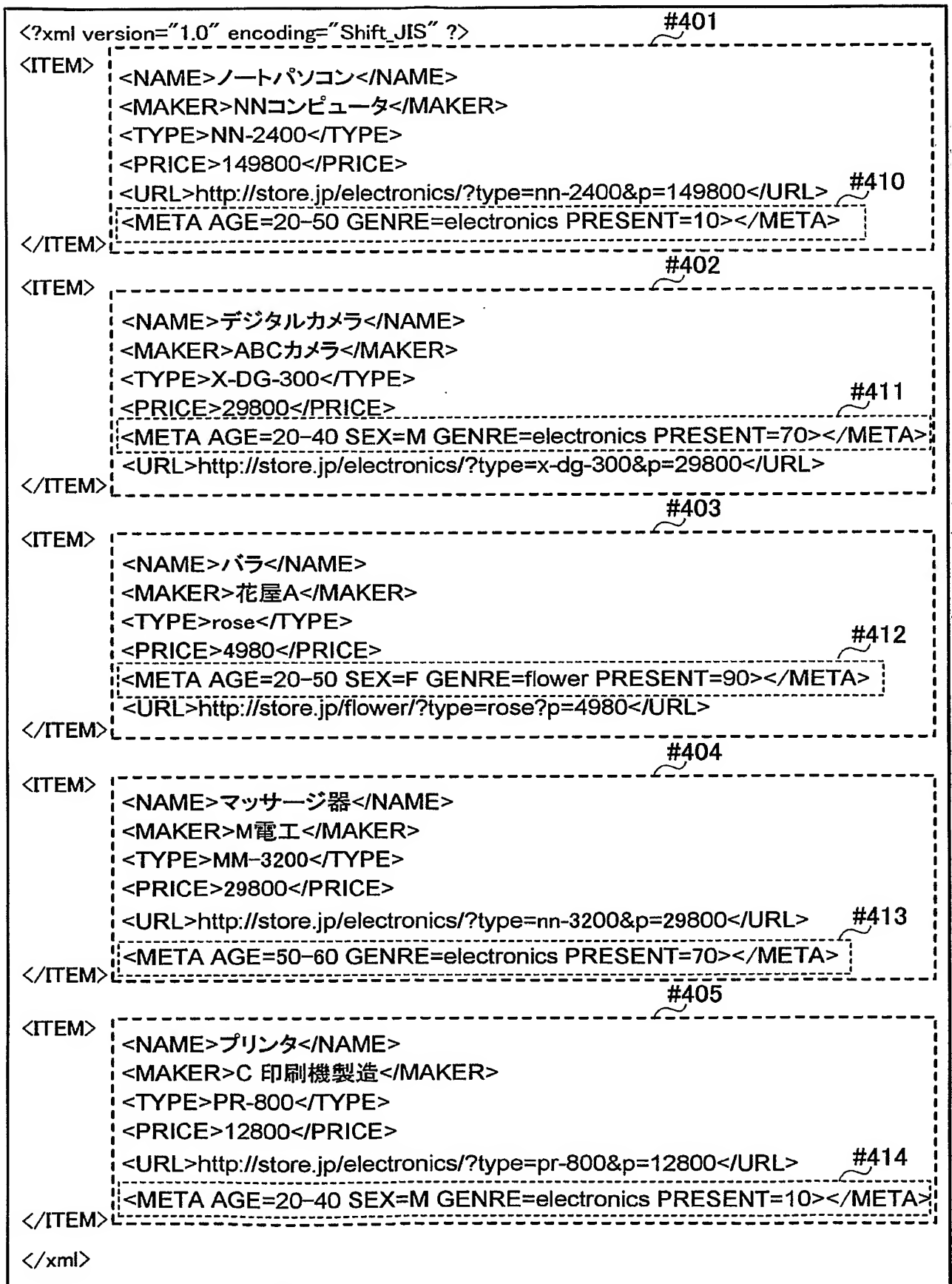
【図 2】



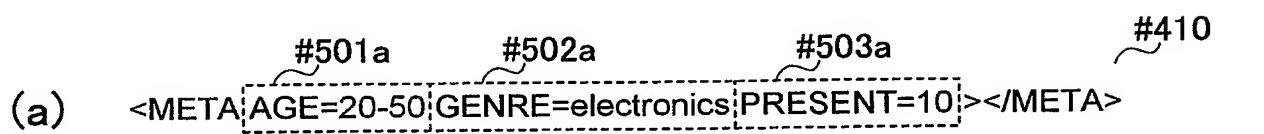
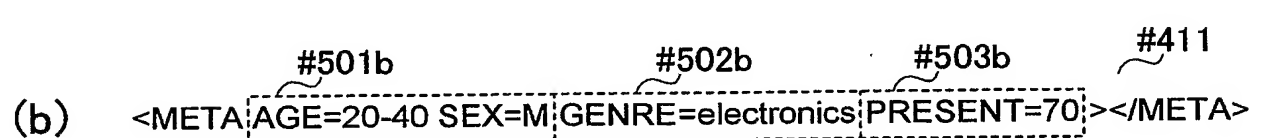
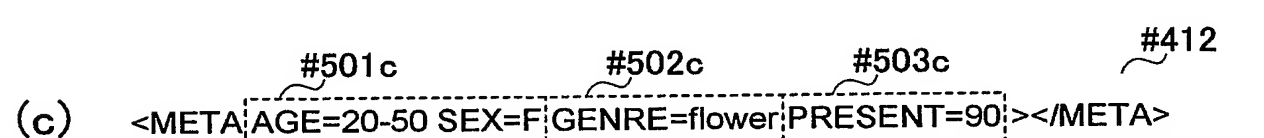
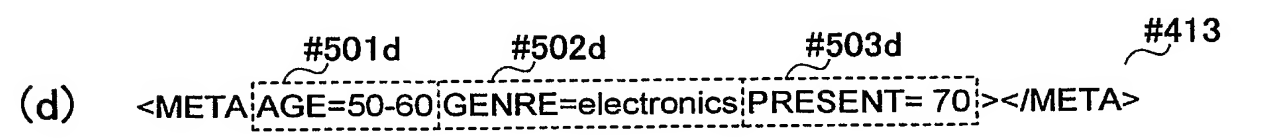
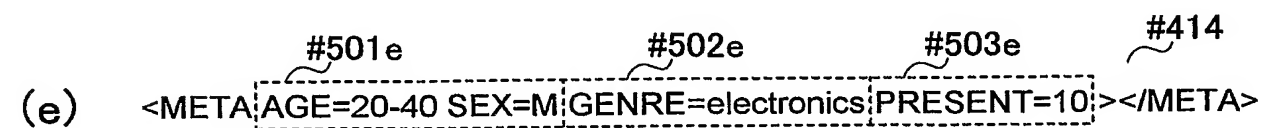
【図 3】



【図 4】



【図 5】

- (a) 
- (b) 
- (c) 
- (d) 
- (e) 

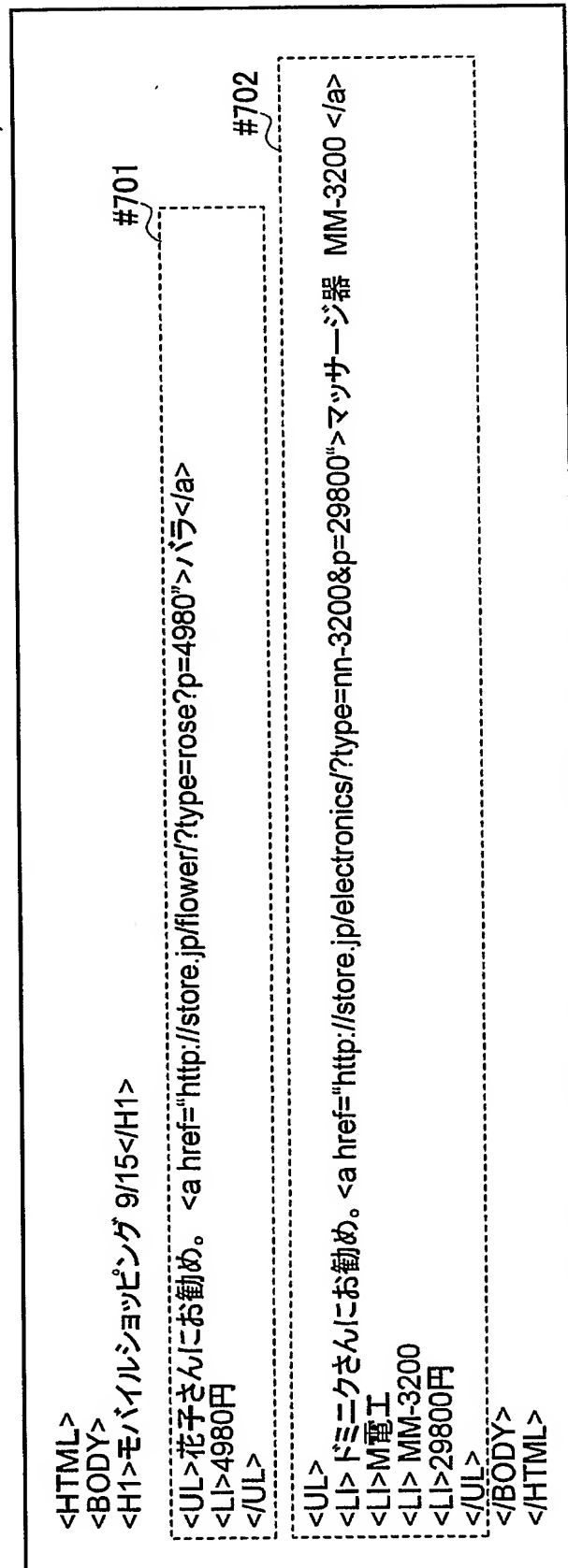
【図 6】

氏名又は名称	電話番号	性別	年齢	誕生日	E-mail	趣味・興味
M太郎	090-XXXX-XXXX	M	30	19740503	aa@example.com	ゴルフ
M電器	045-XXX-XXXX	-	-	-	—	—
John	090-XXXX-YYYY	M	45	19590310	john@xxx.email.com	釣り
花子	090-XXXX-ZZZZ	F	23	19810917	hanako@xxx.email.com	音楽
ドミニク	090-XXXX-AAAA	M	54	19500920	dom@xxx.email.com.fr	読書


#601

#602

【図 7】



【図 8】



モバイルショッピング 12/20


バラ
 ・ 4980円
 花子さんにお勧め。

#801

マッサージ器 MM-3200
 ・ M電工
 ・ MM-3200
 ・ 29800円
 ドミニクさんにお勧め。

#802

【図 9】



モバイルショッピング 9/15

パソコン NN-2400
 ・ 149800円
 ・ NNコンピュータ製

#901

デジタルカメラ X-DG-300
 ・ 29800円
 ・ ABCカメラ製

#902

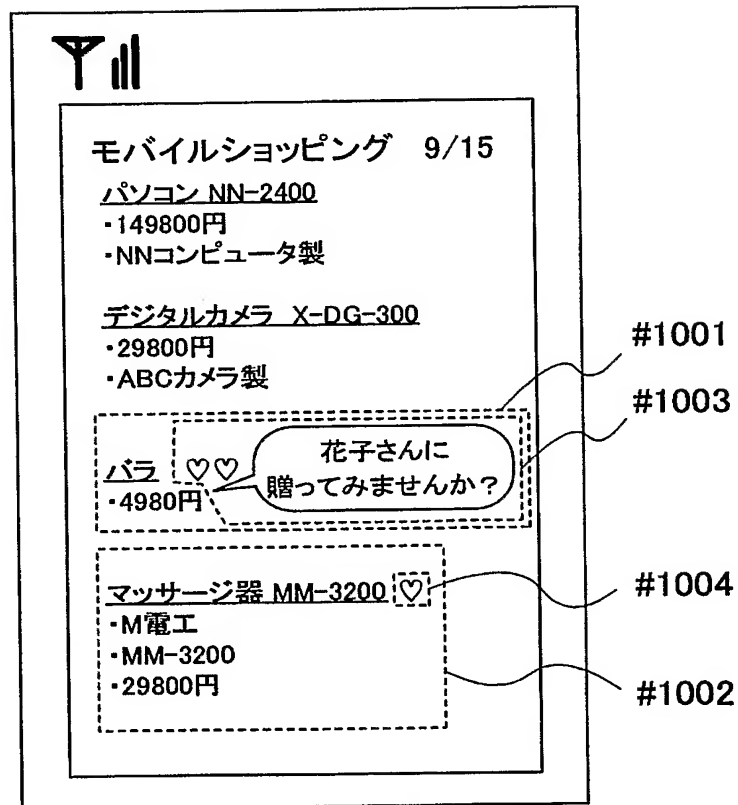
バラ
 ・ 4980円

#903

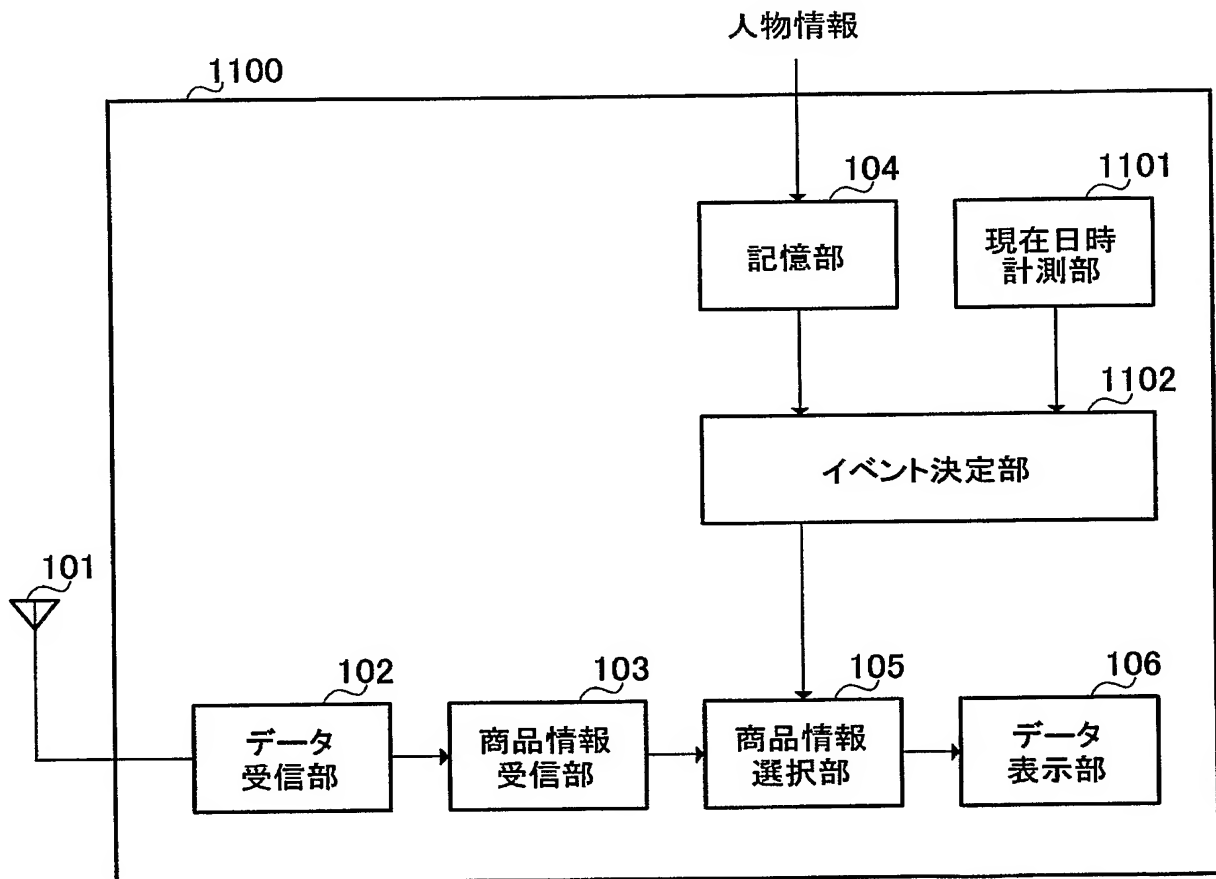
マッサージ器 MM-3200
 ・ M電工
 ・ MM-3200
 ・ 29800円

#904

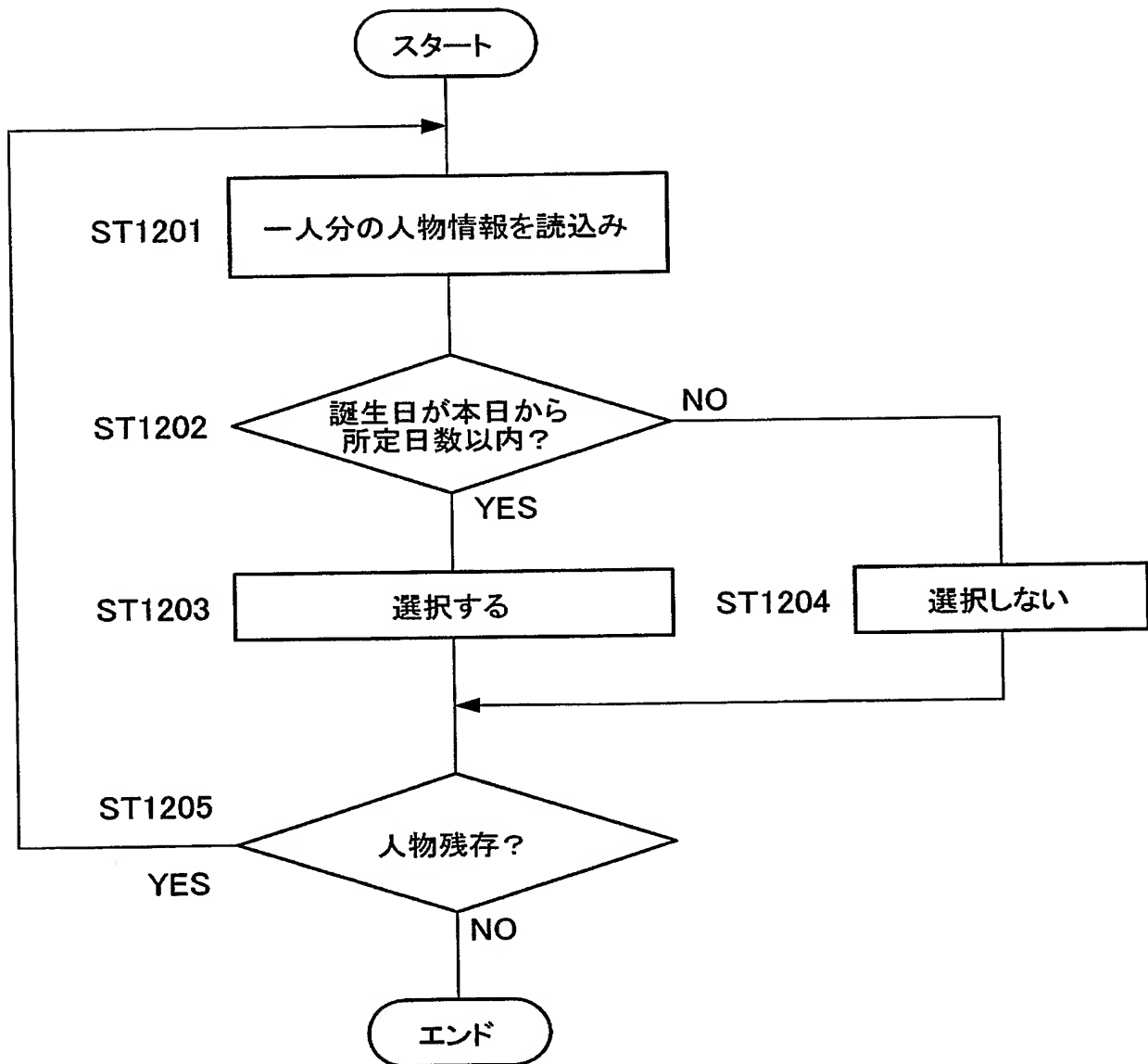
【図 10】



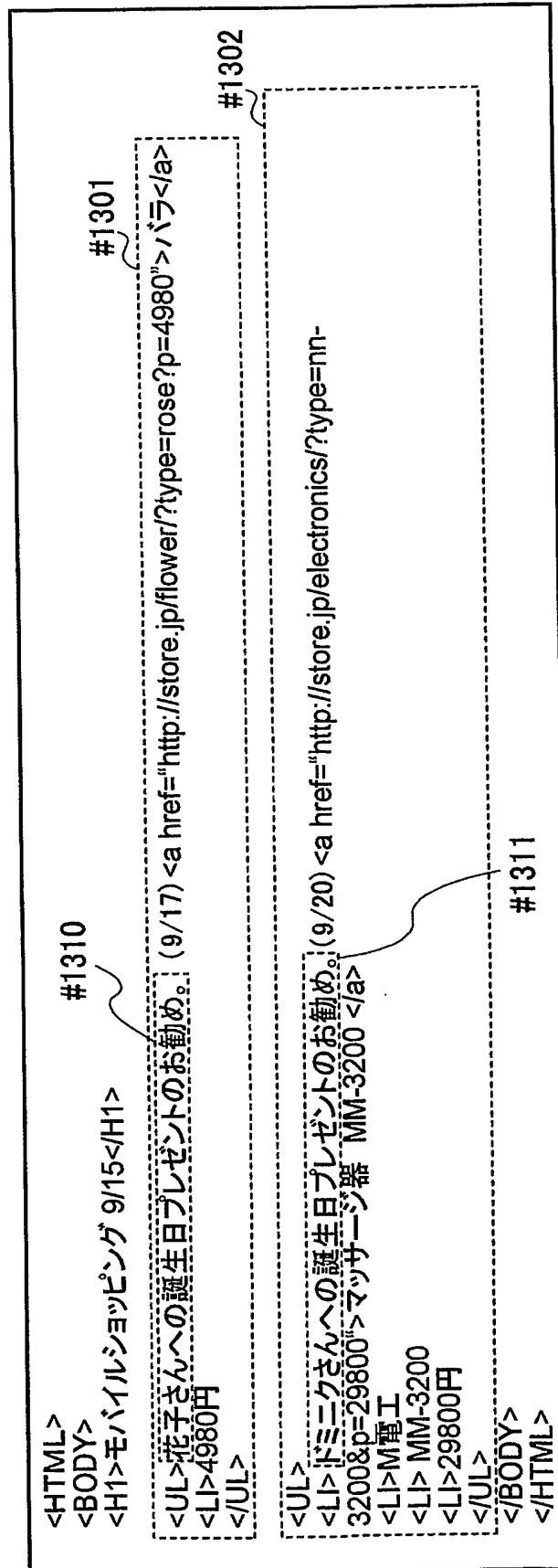
【図 11】



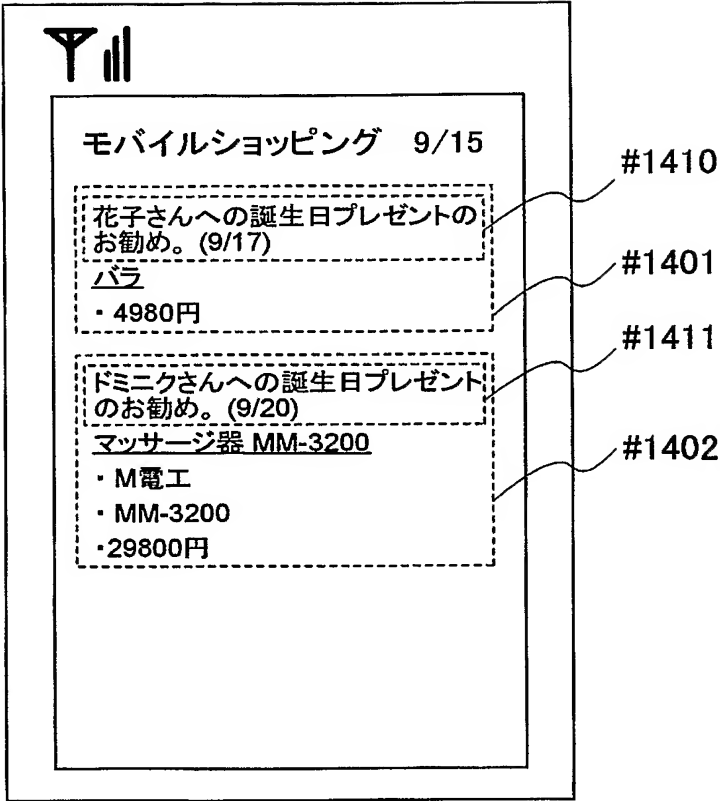
【図 12】



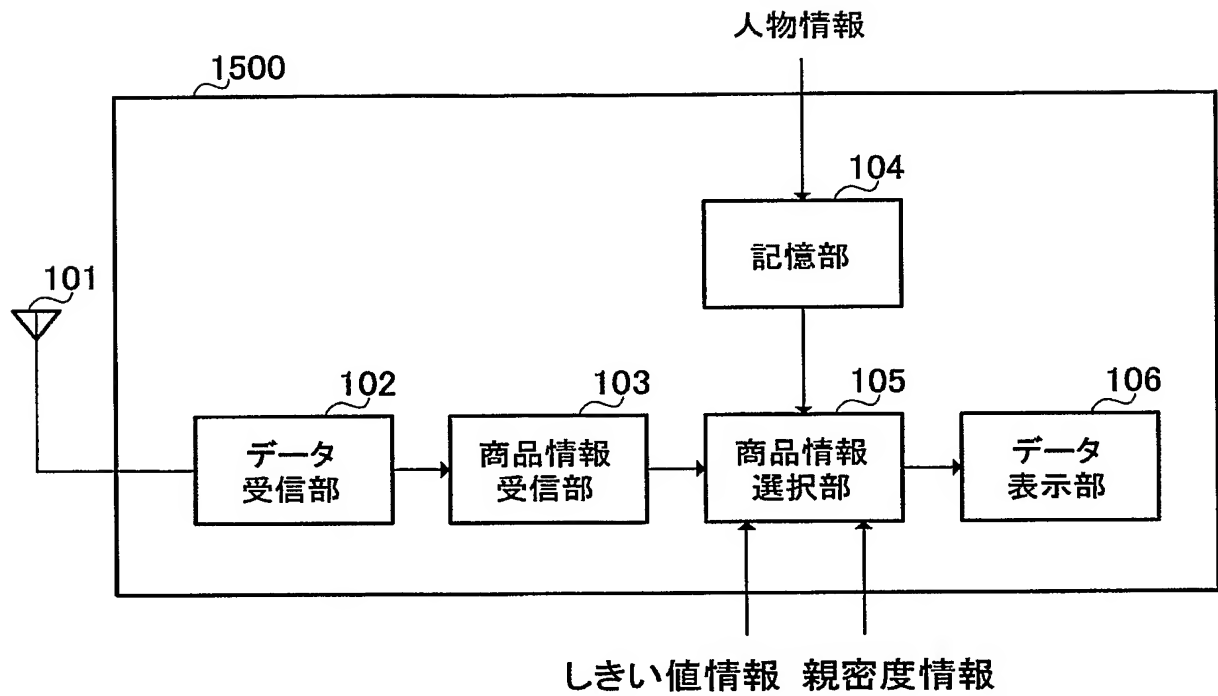
【図 13】



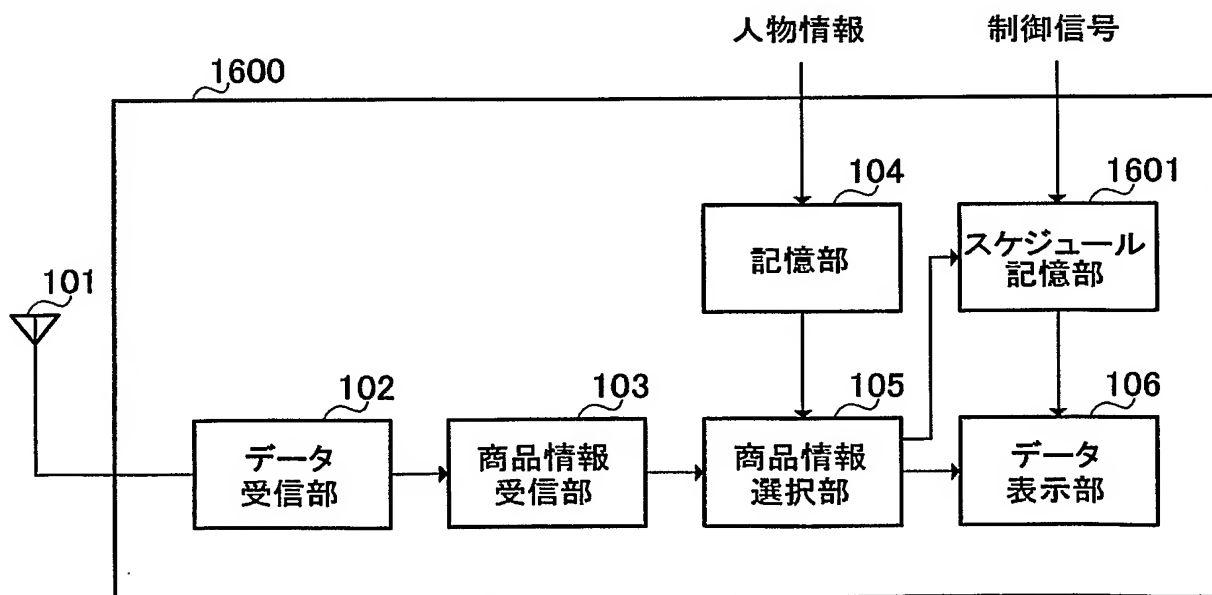
【図 14】



【図 15】



【図 16】

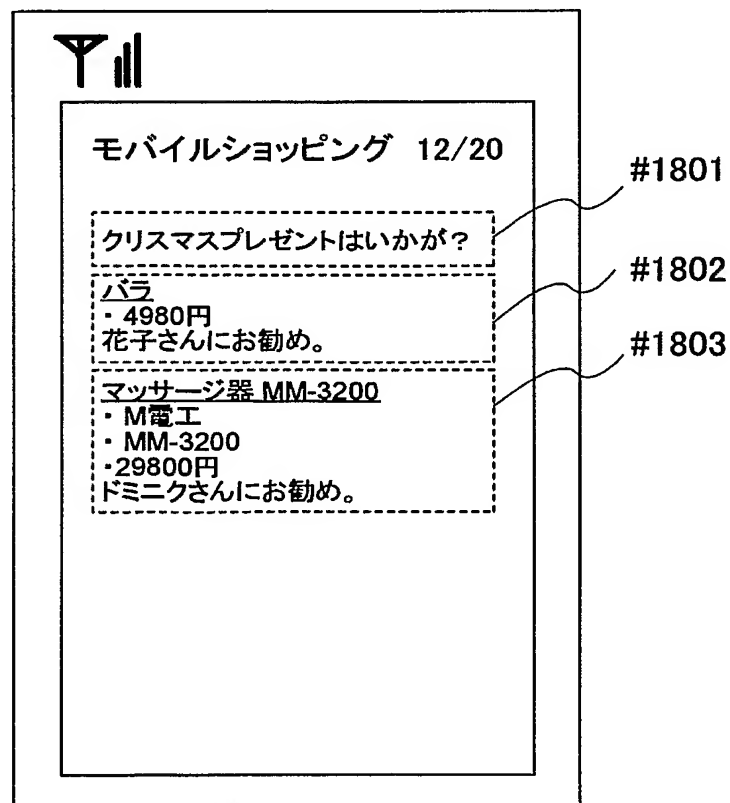


【図 17】

9/10	
9/11	打合せ:大阪 XXビル 103会議室
9/12	
9/13	家賃振込
9/14	
9/15	花子さんへのプレゼント バラ購入期限
9/16	
9/17	花子さん誕生日
9/18	

#1702

【図 18】



【書類名】 要約書**【要約】**

【課題】 贈答相手を考慮して商品の情報を表示することにより、贈答相手毎に贈答品として最も適切な商品を容易に選択すること。

【解決手段】 商品情報受信部 1 0 3 は、受信信号より属性情報を含む商品情報を抽出し、これにより、属性情報に含まれる受取人情報、商品分野情報及び適切度情報を得ることができる。記憶部 1 0 4 は、「誕生日」、「性別」及び「年齢」等のあらかじめ決められている贈答相手の特徴を示す情報である人物情報を記憶している。商品情報選択部 1 0 5 は、受取人情報の受取人の特徴の中に人物情報における贈答相手の特徴で該当するものがあるか否かを判定して、受取人情報の中に該当する特徴がある場合には、該当する受取人情報を含む商品情報が先頭になるように商品情報を並べる。データ表示部 1 0 6 は、商品情報を並べられた順番にて表示する。

【選択図】 図 1

特願 2 0 0 4 - 0 2 8 5 6 2

出 願 人 履 歴 情 報

識別番号

[0 0 0 0 0 5 8 2 1]

1. 変更年月日

1 9 9 0 年 8 月 2 8 日

[変更理由]

新規登録

住 所

大阪府門真市大字門真 1 0 0 6 番地

氏 名

松下電器産業株式会社